

船舶事故等調査報告書

平成23年3月31日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第117号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年7月3日 15時59分ごろ	
発生場所	京浜港川崎第1区 神奈川県川崎市川崎市営ふ頭7号棧橋付近 (概位 北緯35°30.6′ 東経139°45.4′)	
事故等調査の経過	平成22年7月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 <sup>ティアンズ</sup> TIAN ZHU（キリバス共和国）、2,358トン 9338981（IMO番号）、TIAN ZHU CO.,LTD B 貨物船 <sup>いっしん</sup> 一心丸、499トン 140433、徳山海陸運送株式会社、山口汽船株式会社	
乗組員等に関する情報	A 船長A、免状不詳 B 船長B、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A 左舷中央部外板に凹損及びハンドレールに曲損 B 左舷船首部外板に擦過傷	
事故等の経過	A船は、京浜港川崎第1区において、船長Aほか17人が乗り組み、川崎市営ふ頭6号棧橋に左舷着けの態勢から離棧作業中、B船は、船長Bほか4人が乗り組み、同ふ頭7号棧橋に着棧中、平成22年7月3日15時59分ごろ、A船の左舷中央部とB船の左舷船首部が衝突した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南、風力 4、最大瞬間風速 約8～9m/s 海象：潮汐 上げ潮の初期	
その他の事項	川崎市営ふ頭の6号棧橋及び7号棧橋は、京浜運河に沿ってほぼ東西方向に並んでいた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	A あり、B なし A なし、B なし あり A船は、京浜港川崎第1区において、川崎市営ふ頭6号棧橋から離棧作業中、風による圧流量を考慮して岸壁から距離をとっていなかったため、右舷正横からの南風に圧流され、同7号棧橋に着棧中のB船と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、A船が、京浜港川崎第1区において離棧作業中、風による圧流量を考慮して岸壁から距離をとっていなかったため、右舷正横からの南風に圧流されて着棧中のB船と衝突したことにより発生したものと考えられる。	